目標達成計画

作成日 : 平成 22 年 4 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り 組む具体的な計画を記入します。

【目標	【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況 <u>(任意)</u>	
1	23	想いの意向を把握する為に情報は収集しているが、整理がうま〈できていない。センター方式シートを一部利用しているが、センター方式への充分な理解が、全スタッフに行き渡っていない。	それぞれの利用者の想いや意向の把握を充	まずは、全スタッフで再度、センター方式について 理解をするために勉強会を開く。今、やりかけて いるセンター方式シートを一人絞って、センター方 式に取り組むことにより、色々なことが見えてくる ことを実感する。	12 か月		
2	6	玄関などに施錠はないが、ユニットの入り口に暗証番号の施錠がある。開設時から、あるもので、解放していくためには、家族の理解や施錠を行うことのデメリットなどを説明し、家族の了解を得なければならない。	開錠する時間を長くする。	施錠のメリット・デメリットの説明。心理的な影響が、少なからず出ていることの説明。 開錠時間を空気の入れ替えなどを利用し長くできるようにしていく。	12 か月		
3	10	事業所の取り組みなどを家族に伝えきれていな い。	事業所の取り組みなどを定期的に伝え、それが活かされているかどうかみていただ〈。 一方通行にならないように、お互いが、意見・要望などが言えるようにする。	便りだけでは伝えきれない、事業所としての取り 組みなどを、定期的に報告していく。	12 か月		
4					か月		
5					か月		

事業所名 グループホーム我が家

F成日: 平成 22 年 4 月 28

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サ	【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】						
	実施段階	取り組んだ内容					
- COUTAIN		(該当するものすべてに 印)					
1	サービス評価の事前準備	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った 					
		利用者へサービス評価について説明した					
		利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした					
		運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した					
		その他()					
2	自己評価の実施	自己評価を職員全員が実施した					
		前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った					
		自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った					
		評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った					
		その他()					
	外部評価(訪問調査当日)	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった					
3		評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた					
		対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た					
		その他()					
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った					
		利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った					
		評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った					
		運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った					
		その他(
5	サービス評価の活用	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した					
		「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)					
		「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)					
		「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)					
		その他()					